

平成3年
4月25日

第64号

発行 守 谷 町 議 会
編集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL (0297) 45-1111(内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容
- ②ページ 一般質問
- ③ページ 一般質問
- ④ページ 一般質問
- ⑤ページ 予算のあらまし
- ⑥ページ 臨時会ほか



入学式(御所ヶ丘小学校)

第1回定例会

三年度予算成立

残土処分条例制定される!

平成三年第一回定例会が、去る三月六日から二〇日まで、一五日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、平成三年度の各会計予算をはじめとする町長提出議案三件と議員提出議案一件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

議決内容

報告
○公害防止条例に基づく報告
平成二年の当町の公害状況及び公害防止に関して講じた施策等が報告された。

条例制定

○土砂等による土地の埋立、盛土及びたい積の規制に関する条例
土地の埋め立て等による環境破壊や災害の発生を防止するため、埋め立て等の行為について適正な規制を行うもの。

条例の一部改正

○町職員の勤務時間に関する条例
労働基準法の一部改正に伴い、町職員の勤務時間の上限を週四六時間から四四時間に改正するもの。

○町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例
町三役の給与並びに、議員、その他の非常勤職員の報酬額について、特別職報酬等審議会の答申をもとに改定するもの。

この件については、三役の給与並びに議員の報酬額を現行のままとする修正案が提出されたが、修正案が否決され、原案のとおり可決された。
○教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例
教育長の給与を特別職報酬等審議会の答申をもとに改定するもの。

○国民年金印紙購入基金の設置、管理及び処分に関する条例
基金を増額して国民年金印紙の購入及び売りさばきを円滑かつ効率的に行うためのもの。

を円滑かつ効率的に行うためのもの。
○運動公園の設置及び管理に関する条例
けやき台地先防災調整池内の南守谷野球場開設に伴うもの。

町営住宅管理条例

○町営住宅管理条例の改正に伴うもので、入居者資格としての収入基準等の改正が主なもの。

○取手都市計画守谷町公共下水道受益者負担に関する条例
市街化調整区域への下水道処理区域の拡大に伴い、受益者負担金が減免されていた土地に新たに建物を建築する際の負担金について定めるもの。

消防団条例

○消防団員の報酬等を引き上げるもの。

二年度補正予算

○一般会計補正予算(第9号)
歳入歳出それぞれ二七六万四〇〇〇円の増額補正で、補正後の予算額は九八億三三五万八〇〇〇円。

主な内容は、守谷駅周辺区画整理事業関連の調査委託料、道路改良工事に伴う用地買収代、住宅新築資金貸付事業費等の減額と、常磐新線対策基金積立金、地域づくり推進基金積立金の増額など。その他、全般的に事業費の確定により減額されている。
○公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ三三三万五〇〇〇円の減額補正で、補正後の予算額は一三億八〇七三万三〇〇〇円。

主な内容は、区域外流入負担金、徴収猶予取消分の受益者負担金、利用者の増に伴う下水道使用料等の増額と、これらに伴う基金

繰入金の減額など。歳入は、事業費の確定に伴う減額。
○国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ六一七〇万五〇〇〇円の減額補正で、補正後の予算額は一二億三二〇万五〇〇〇円。

主な内容は、医療費の減額に伴う保険給付費の減額、基金積立金の増額など。
○老人保健特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ三〇六七万七〇〇〇円の減額補正で、補正後の予算額は一〇億六二〇万九〇〇〇円。

主な内容は、医療費の減額など。
○水道事業会計補正予算(第3号)
主な内容は、給水戸数の増加に伴う分担金収入の増額、企業債の減額、道路改良工事に伴う水道管布設工事費の増額など。

○工業団地土地区画整理事業会計補正予算(第2号)
主な内容は、軟弱地盤により盛土期間を延長する必要が生じたため、平成二年度分の継続事業となっていた造成工事等の一部を次年度施工に変更するもの。

○工業用地の取得及び処分事業会計補正予算(第2号)
主な内容は、工業団地立地決定企業から納入された予納金の運用利息収入の増額と、用地取得費の減額など。
●財産の取得
けやき台中学校用地の取得。面積二万三六八八・二二平方メートル。買収価格二億六五四万五二二二円。

●財産の取得変更契約
けやき台中学校校舎、屋内運動場、柔剣道の買収価格の変更。
変更価格は次のとおり。
校舎二億六八八万二八八一円→七億六六九万三三三二円
屋内運動場二億五六〇九万四七七・一円→二億六八八万七六八八円
柔剣道場九一六四万二二九三円→一億一〇八〇万二八六八円

町道廃止・認定

○県道野田守谷線の一部完成より、立沢地内町道が分断されるため路線の組み替えを行うもの。
○原地内において県道野田守谷線に町道の一部が編入されたため路線の組み替えを行うもの。
○高砂町地内の町道が民間開発により延長されたため、その部分を町道とするもの。
○立沢地内の工業専用地域の外周に位置する道路を町道として認定するもの。

●特別委員会の設置
○総合体育館等建設促進特別委員会

『請願・陳情』

◆採択
○稲戸井調節池総合開発事業計画に伴う崖地の整備及び道路拡幅に関する要望
◆不採択
○常磐高速道路に架かる向山橋から役場前に通じる生活道路の廃止反対の陳情
○湾岸戦争と憲法に反する日本政府の戦争協力に反対し、中東に公平な平和を求める請願

◆継続審査
○同和対策の充実強化に関する要請
○同和対策についての基本的法律制定を求める決議に関する陳情
○コメ輸入自由化反対自治体宣言を求める請願

一般質問 (要旨)

充実した保健センターの建設を

大久保 進議員

大久保(進)議員 平成三年度、旧庁舎の跡地利用として、役場支所、集会施設を併設した保健センターを建設することであり、医療従事者等の充実強化が必要と思われるが、どのように考えているか。

保健環境課長 予防注射、健康診断等については、医師会並びに歯科医師会のご協力をお願いし対応したい。また、保健サービスの向上を計るために、保健婦の増員も考えていきたい。

大久保(進)議員 旧市街地の活性化につながるような、より充実した保健センターをつくっていただきたい。

青少年問題

大久保(進)議員 平成三年度の施政方針を見ると、青少年問題についてはあまり

アイデアモニター制度の反映と

行政の推進を

小川 一成議員

小川議員 昭和六三年度からアイデアモニター制度がスタートし、モニターの皆様からは、将来の守谷町がどうあるべきか、その都度貴重な提言をいただいていると思うが、これらをどのように行政に反映しているのか伺いたい。

福祉センター

小川議員 心身障害者福祉センターについては、平成三年度に基本計画を立て、四年度に建設したいとのことだが、建設予定地と建物の規模を伺いたい。

社会福祉課長 北団地と鬼怒川に挟まれた板戸井地区の町有地に建設したいと考

えており、鉄骨平屋建てで、床面積は四五〇平方メートル程度を予定している。

図書館建設

小川議員 図書館建設については、建設予定地の地権者との話し合いもスムーズに進んでいるとのことであり、早々に図書館建設の準備委員会を発足させ、中身の検討に入っていくべきではないか。

教育長 用地が確定次第、準備委員会の設置を考えていきたい。

土地利用計画

小川議員 南団地のけやき台四丁目約一〇・六ヘクタールの公団用地が残されているが、現在の土地利用計画では、一戸建てではなく、集合住宅用地として計画されている。しかし、この土地は公団の中にまとまって残された貴重な土地であり、地域住民のためになるような土地利用を考えるべきだと思う。そこで、複合施設や研究所の導入、ある

いはドイツ村とか大使館村といった特色のある新しい発想のまちづくりを試みたらどうか。

都市整備部長 この地域の開発計画について、平成二年度に、筑波大学の助教授を座長とする検討会において種々検討されている。その検討の中では、県南地域の常磐新線沿線開発計画、筑波研究学園都市を中心としたハイテク産業の集積による首都圏区域の拡大などから、むしろ高密度の土地利用を図る必要があるというところで、一部超高層住宅(三〇階建)の検討もされている。今後、この地域の開発にあたっては、町としての意見を集約して対応していきたいと考えている。

デイサービス事業

小川議員 虚弱老人等の生活の助長、心身機能の維持向上等を図るために、平成四年度から、峰林荘に委託しデイサービス事業を実施したいとのことだが、事業の主な内容を伺いたい。

社会福祉課長 六五歳以上の身体障害者、虚弱老人、寝たきり老人等を対象とするもので、基本事業として、生活指導、日常動作訓練、看護、家族の介護者教室、健康チェックなどを行い、さらに通所事業として、入浴サービス、給食サービスなどを予定している。

小川議員 デイサービス事業は、一日何人くらい利用できる予定か。また、給食

町民のための行政施策を

豊島 清議員

豊島議員 守谷町は、稲戸井調節池総合開発事業や、常磐新線計画など、大きな事業をいくつか抱えているが、これらにより直接町民が受ける恩恵は、ごくわずかであると思う。そこで、平成三年度に、一〇年後を目標とした第三次振興計画を策定することであり、その中で直接町民のためになるような大きな施策を是非考えていただきたい。

また、各地区への公民館建設、あるいは小学校区ごとの児童館建設なども、この一〇カ年の振興計画の中で実施していただきたい。

助役 今後一〇カ年の振興計画として、中央の図書館と、その分館の建設を計画している。また公民館についても各地区に順次整備していく考えであり、さらに児童館や障害者センターの建設、その他すべて町民サイドに立って計画しているわけである。

豊島議員 平成二年度の各会計予算の最終補正を見ると、各項目にわたって非常に減額補正が目立っている。貴重な財源を組んで決めた予算を消化しないで繰り越すことは、非常に残念である。

サービスの代金については、町で負担して、本人の負担がかからない方向で検討していただきたいがどうか。

社会福祉課長 一日の利用人数は約一〇人で、一人週二回を限度とし、一週間に延べ五〇人程度を予定している。また、給食費の負担については、今後運営面での協議を行い決定していきたい。

特に、昨年一月に機構改革により行政の強化を図ったにもかかわらず、このような結果になってしまったことをどう思うか。

町長 諸々の事情で減額することになってしまったが、今後はこのようなことは絶対にならないようにしたい。

常磐新線

豊島議員 常磐新線の建設にあたって、ただ路線が通るだけでなく、地域の人たちに喜んで賛成していただけるよう、守谷町に二つの駅を設置する方向で取り組んでみたかどうか。

新線対策課長 駅をつくる場合は、「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」により、周辺の整備をする必要があり、守谷町に二つの駅をつくることは現実的に不可能と考える。

下水道整備

豊島議員 下水道の終末処理場を現在の野木崎地先に建設する際、周辺住民の強い反対があったが、話し合いの結果、市街化区域の整備が終わって調整区域の整備に入る段階においては、

まず最初に周辺地区の整備をするということと合意に達した経過がある。しかし、今すでに調整区域の整備が進められているにもかかわらず、周辺地区が整備されないのはどういうことか。

立地企業の固定資産税について

松本 明子議員

松本議員 平成三年度予算に、アサヒビール(株)の償却資産税が計上されているが、償却資産税の課税基準について、地方税法の行政通則によると、その資産が製品化するしないにかかわらず、試運転を完了したときに課税できるとされている。実際にアサヒビール(株)が仕込みを始めたのは一月一日であり、年内に試運転が完了していたのは明らかだと思ふ。課税期日は一月一日であるので、当然平成三年度の課税対象となると思うがどうか。

税務課長 その資産が、いつの時点で事業の用に供したのか解釈が非常に難しい。確かに年内に試運転が完了した部分もあるようだが、全体としては、事業の用に供することができず状態であったのかどうか問題点がある。また、一月一日現在では、資産の減価償却費が必要経費等に算入されていないという観点から課税客体にはならないと判断しているところであるが、今後これらの事実関係を調査し、さらに県の指導等も得ながら検討していきたい。

松本議員 当町には企業誘致条例に基づき誘致された古くからの企業が三社あるが、企業内にある空き地の固定資産税は、宅地の七割掛けで評価しているところ

年度までの整備計画があり、その事業認可をいただいているので、その後の整備を進める段階においては、周辺地区の整備を最優先的な考え方を取り組んでいきたい。

とである。この住民との不平等をどう考えるか。

町長 誘致後かなり年月も経過しており、また市街化区域内農地との絡みもあるため、今後十分検討し対処したい。

松本議員 工業団地や工業専用地域、さらに市街化調整区域内の企業について、土地の評価額が安すぎると思われるが、この評価額の設定基準を伺いたい。

税務課長 町には一〇四箇所の基準地を設けてあり、この基準地の価格に基づいて評価している。基準地価格の設定にあたっては、県の方から県全体の状況を踏まえた中で指導を受けている。

松本議員 これらの企業の土地の評価額は同じであるが、交通の利便性など立地条件のよいところは、当然評価額を上げていくべきではないか。

税務課長 使用目的が同じ工業用地として使用しているもので、同じような評価をしている。

福祉行政について

松本議員 寝たきりの老人の介護費の値上げ、お年寄りの入院見舞金制度の実施、あるいは白内障等が目が見えない人のために、眼内レンズの手術に対する補助をするなど、福祉の充



有効な土地利用を(南団地内公団用地)

実を語っていただきたい。
民生経済部長 町の基盤がしっかりしてきている中で、全体的な福祉の底上げを考えていきたい。

松本議員 保育ママ制度が昨年より制度化されたが、乳児を三人預かる場合、三人目に対しては町の補助金が減額されてしまう。しかし、この三人の中に六カ月を過ぎた乳児がいる場合は、その保育に大変な労力を伴うので、その場合の補助金の増額をお願いしたい。

民生経済部長 保育ママ制度は、現在なかなか定着しない状況にあるが、これはどういう理由からなのか、金銭的な面もあると思うが、現在勉強している段階であり、もう少し時間をいただきたい。

松本議員 平成三年度に保育所の保育料を一パーセント値上げすることだが、幼稚園と比較しても高い状況にあるので保育料の値上げはやめていただきたい。町長 受益者負担という点もあり、そう簡単にはいかない。

松本議員 働く母親のために、小学校低学年の児童を対象とした児童保育制度を実施するよう前々から要望しているところであるが、現在どのような状況になっているか。

民生経済部長 現在、児童館が北団地内に一館あるが、平成五年度を目標に、もう一館建設し、その段階で児童保育を開始したい。

技術者の採用を

松本議員 町の職員には建築設計等の専門技術者が少なく、建築工事等の際に適切な指導ができない状況であるので、今後、このような専門技術者を採用し、独立した検査部門を設置し

たらどうか。

総務部長 現在、非常に工事が多く、各部所に技術職を配置することは困難な状況である。職員採用にあっても、技術職の応募がない状況であり、今後、技術をもった方で定年退職された方の委嘱なども検討していきたい。

同和対策について

松本議員 町長は、部落解放基本法の制定を求める要請書に署名をしたとのことだが、当町における同和対策事業の状況をみると、ハード面の事業についてはほとんど終わっており基本法は必要ないと思う。町長は当町の実態を調査して現状を把握できないかぎり、署名すべきではなかったのではないか。

町長 同和対策事業については、まだ足りない面があり、行政として十分の問題に取り組んでいかなければならない。また国の補助金等の問題もあり署名した。

学校教育について

松本議員 守谷町の各中学校では、新教研テストという業者テストが半強制的に行われており、それで偏差値が決まられ、受験校が決まられていくわけだが、これが本当に心豊かな個性を伸ばす教育につながっているのか疑問である。県の指導課によると、業者テストは生徒の希望を取って行うよう指導しているとのことであり、今後はきちんと希望を取って実施していただきたい。

教育長 新教研テストは、茨城県では県南地区のほとんどの学校が行っており、当町でも是非行っていたくよう指導している。同じ問題による成績で判断しな

ければ客観的なデータにならず、適切な進路指導ができませんからである。

広域行政について問う

浅野 進議員

浅野議員 常総環境センターの粗大ゴミ処理施設内で、昨年七月、一二月、さらに今年の一月と立て続けに爆発事故が発生した。原因はプロパンガスボンベや石油ストーブ、バイク等に残った燃料が原因とのことであり、このような危険ゴミは絶対に出不さないよう、広域圏内の各市町村において徹底したPRをお願いしたい。

土地利用計画

浅野議員 建設省の戸井調節池総合開発事業に対して、当町議会では、スポーツ・レクリエーション施設の用地や農地の確保をはじめ、七項目の要望を提出しているところであるが、今に具体的な回答がない。そこで、この七項目の要望事項と常磐新線計画等を踏まえながら、町独自で土地利用計画の書き直しを作成し、建設省に提示したかどうか。

町長 建設省、茨城県、取手市、守谷町からなる促進連絡会において、新たに専門部会をつくり、具体的な土地利用計画等を検討するとともに、町としての書き直しを作成し、七項目の要望事項の実現に向かって努力したいと考えている。

夢とロマンの洋上学校の

実施を

西巻 健治議員

西巻議員 教育の知識偏重の中で、体験学習は今後非常に大きなウェイトを占めてくると思う。水戸市では、昨年から各中学校のローテーション方式により洋上学校を実施し、非常に大きな成果を収めているとのことである。そこで当町においても、子供たちに陸上では味わえない夢とロマンを与える意味で、是非洋上学校を

ようなことも検討してみたい。

地区公民館建設

西巻議員 昨年三月の議会において、南団地への地区公民館の建設について質問したところ、今後よく検討し計画を立てるとのことであったが、その後の経過を聞きたい。

教育長 平成三年度に郷州地区に公民館を建設し、次に南守谷地区に建設したいと考えている。用地については、公園用地の用途地域の変更をお願いしたいと考えており、今後、関係課と協議しながら早く用地を決定したい。

資源ゴミについて

西巻議員 常総環境センターでは、鉄、アルミ、ガラスなどの有価物が回収される。これらの有価物は、以前から同じ業者を通じてメーカーに売られており、その単価は、業者側の示した値段で大体決まってしまうとのことである。しかもその単価は相場よりかなり低いように思われるので、今後はきちんとした入札制度を取り

ホタルの里づくり

西巻議員 茎崎町では、ホタルの里づくりということとで、約六〇〇〇平方メートルの土地に、二〇メートルほどの人口の小川をつくり、そこにヘイケボタルの幼虫を放して、昨年その一号が飛んだとのことである。そ



プレスされた空き缶

こで当町でも、子供たちに自然の生態系を教えるという意味からも、このホタルの里づくりに取り組んでいきたい。また、すぐに実施することが難しいならば、まずはホタルの卵を孵化させることを小学校の理科の授業の中に取り入れてみたかどうか。

教育長 藤代町では、小学

きれいなまちづくりの推進を

佐藤 弘子議員

佐藤議員 スイスは大変街並みがきれいであり、国民一人ひとりが、行政と一体となって環境美化に努力をしているとのことである。リサイクルも徹底されており、行政は、ビン、缶、古紙などの回収結果を、各戸に図でわかりやすくお知らせし、最後にありがたさのことはを明記するなど、細かな配慮がされている。当町においても、これらを参考にし、住みよい環境づくりを推進していただきたい。

保健環境課長 その点十分気をつけていきたい。ゴミ問題については、現在、国において法令の検討がされており、その期待をされているわけである。また、当町においては、平成三年度に、多少ではあるがゴミの減量化、あるいはリサイクルの予算化をして実施していきたいと考えている。

佐藤議員 平成三年度に、ゴミの減量化対策として、生ゴミのコンポスト容器の購入補助を試験的に行うとのことであるが、コンポスト容器には地上方式と地下方式があり、地下方式の方が効率がよく、さらに悪臭も出ないとのことなので、これらを十分調査し、容器を選定していただきたい。

消防対策について

佐藤議員 消防団条例の中に「団員は職務に関し金品の寄贈又は供応、接待を受け又はこれを請求することがあるが、この解釈について伺いたい。

総務部長 消防団員が火災や水難事故等で現場に出勤した時に、その職務に対して金品の授受、あるいはその要求をしてはならないという、消防団員の規範を規定したものである。

校の水槽でホタルの幼虫を飼育し、その生態の観察を行っているが、飼育をして、水田の農業散布等で放すところがない状況である。また、ホタルの幼虫や、餌となるカワナナナ等の確保等の問題もあり、もう少し検討してみたい。

佐藤議員 消防協力金は、各町内会によって金額等も違うようであるが、半強制的な面もあり、町民から条例違反ではないかとの声も聞かれるが、どのように考えるか。

総務部長 あくまでも協力を金であり、強制力のあるものではないと考えている。また、この消防協力金については、出初め式において、団長から各団員に対し、自重の呼び掛けをしている。

国民健康保険

佐藤議員 住民が高い国民健康保険税を納めている中で、一億五九〇〇万円もの国保準備金があるわけだが、それを取り崩して加入者に還元すべきではないか。

国保年金課長 平成三年度においては、一般会計から五〇〇〇万円、保険基金安定負担金から七九四万円の繰り入れ、また、国保準備金の中から四〇〇〇万円を取り崩して予算編成をしており、平均して一世帯当たり二万七〇〇〇円の負担軽減を図っている。国保準備金の一億五九〇〇万円については、急増する医療費の中においては決して多額ではないと思われる。

農業の振興

佐藤議員 平成三年度の施政方針の中に、農業の振興として、地域農業確立推進事業等を活用し、地域農業の確立に努めるとあるが、この地域農業確立推進事業とはどのようなものか。

経済課長 コメの生産調整の中において、土地の効率的な高度利用と大規模農業の推進を図り、農用地の貸借を進めて中核的な農家に土地を集積していくという事業である。

佐藤議員 コメの減反をし、

輸入自由化が問題となっている中で、農家の規模を拡大していくことだが、それで本当に農業経営が推進できるのか。

民生経済部長 日本農業を取り巻く状況は、非常に厳しいものがあり、中核農家を育成するといっても、並大抵の努力ではできない。問題は、個々の農家の自立性をいかに行政の力を加えて向上させていくかであり、議論を要する。

佐藤議員 農業経営の採算があわないということ、農家の数もかなり減ってしまっているが、行政として農家に対する補助金を考えてみたらどうか。

助役 補助金行政だけで農業が救われるわけではないと考える。基盤整備も行われたわけであり、それを十分活用し効率的な生産を考えていただきたい。また、水海道市で実施されているような方式のブロックローテーションによる集団転作と互助制度を当町において実施したいと考えている。

商工問題について

佐藤議員 平成三年度の予算に、商工会育成補助金として一〇〇〇万円計上されているが、これはどのように活用されるのか。

経済課長 当町に出店予定の大型店対策、あるいは地元商店の今後の経営方針、サービスの向上、その他、商工会では多くの指導事業を行っており、そのための費用である。

佐藤議員 大型店が来ることによって、ゴミ問題や交通の問題をはじめ、様々な弊害を無くし、大型店が住民のプラスになるよう、商店会と協力しながら進めていただきたい。

経済課長 そのように努力

道路の整備について

佐藤議員 私道で、町に寄付されたにもかかわらず整備されていないところがある。その整備を進めていただきたい。

建設課長 寄付していただき町道に認定されたものについては、すべて整備が完了していると思うが、もう一度よく調べてみたい。

佐藤議員 平成三年度における防犯灯の設置計画を伺いたい。

町道整備の促進を図れ

栗橋 義三議員

栗橋議員 守谷町の町道の整備状況は、幹線道路となっている一級町道については舗装率九・三パーセントとほぼ整備されているが、二級町道で幅員三・六メートル未満の道路は、舗装率四・一パーセントと整備が遅れているので、この整備促進を図っていただきたい。

建設課長 平成三年度においては、十二カ所の町道の改良工事を予定している。幅員三・六メートル以上の町道については、利用頻度が高いため舗装率は上がっているが、今後、狭い町道についても、宅地等の開発状況を見ながら、順次整備していききたい。

栗橋議員 新都市計画法施行以前の分譲地内の道路は私道となっており、それを整備するには町道の認定が必要であるが、当町の私道整備要綱によると、町道に認定するには私道所有者が

したいと考えている。防犯連絡員協議会の方々にも調査していただいております。逐次設置していきたく考えている。

稲戸井調節池事業

佐藤議員 稲戸井調節池総合開発事業は、治水ばかりでなく飲料水としての利水計画もされており、もし計画区域内にゴルフ場が建設されれば飲み水の汚染や周辺農地への影響も心配される。町長自身は、当初からゴルフ場建設については賛成しかねると言っていたが、その考えは変わっていないか。

町長 変わっていない。

て審査にあたっていた。たわけであり、ご了解いただきたく。

栗橋議員 今年も引き続き海外派遣事業を実施することであるが、派遣者の選考方法並びに人数の増員、あるいは地元高校である守谷高校には、初めから参加枠を設けるなど、諸問題の改善を図り、是非この事業を成功させていただきたい。

企画調整課長 派遣者の選考方法、あるいは人数等については十分検討し、遺憾のないよう実施したい。

守谷城址公園を中心とした大公園づくりを

中村 力議員

中村議員 現在、ふれあいパーク整備事業として進められている松並木パークの整備について、平成二年度の事業費が用地買収等の遅れから一部新年度に持ち込まれてしまったが、今後の見通しを伺いたい。

建設課長 松並木パークの計画延長約一五〇メートルの内、一九五メートルの整備が完了しており、新年度で残り分を整備したいと考えている。用地買収等の問題についても、できるだけ早期に解決できるよう努力している。

中村議員 このふれあいパーク整備事業を森林公園から守谷城址公園へと進めていただきたい。

建設課長 ふれあいパーク整備事業は、総延長約二四キロメートルで町内を一周するような形で予定しており、各ブロック別に名称をつけて順次整備していく考えである。現在行っている松並木パークの完成後は、大柏地区のウォッシングパーク、さらに守谷沼パークと順次整備していきたい。

中村議員 平成三年度施政

派出所の設置

栗橋議員 北守谷地区では、交通事故、暴走族、あるいは窃盗事件などが頻繁に発生しており、是非、当地区内に警察官派出所を設置していただきたい。

総務部長 町としても取手警察署を通じて茨城県警に設置を要望している。設置時期についてはまだわからないが、場所は郵便局の隣を予定している。

図書館について

中村議員

中村議員 平成三年度において、旧庁舎跡地に保健センターの建設が計画されているが、是非その施設の中に、図書室もしくは図書コーナーを設けていただきたい。助役 設置する方向で計画している。

中村議員 地域住民の生活に密着したよりよい図書館をつくるため、館長予定者を中心とした準備委員会を早期に設置していただきたい。

町長 考慮したい。

中村議員 現在、中央公民館敷地内にある福祉集会所において、重度心身障害者の機能回復訓練等が週一回行われており、その際、保育所の保育士さんにその手伝いを願っているが、最近の保育所入所者の増加により

手伝いも難しい状況になっているので、是非専任職員を採用していただきたい。町長 早急にとりうけたい。

地区公民館建設

中村議員 先に都市計画審議会に諮問された第三次守谷町振興計画案の中に「既存の地区公民館は老朽化し建て替えが必要であり、大規模住宅開発地内への新築も必要である」としているが、この大規模住宅開発地内とはどのように認識しているのか。

社会教育課長 人口の定着に伴う大規模開発地における集会施設の不足、あるいは中学校区に一館整備するのが望ましいという県の指導を考慮しながら順次整備していく考えであり、平成三年度にみずき野地区に建設し、次に南北団地への建設を考えていきたい。

中村議員 高野地区の公民館は非常に老朽化しているが、建て替える計画はあるのか。

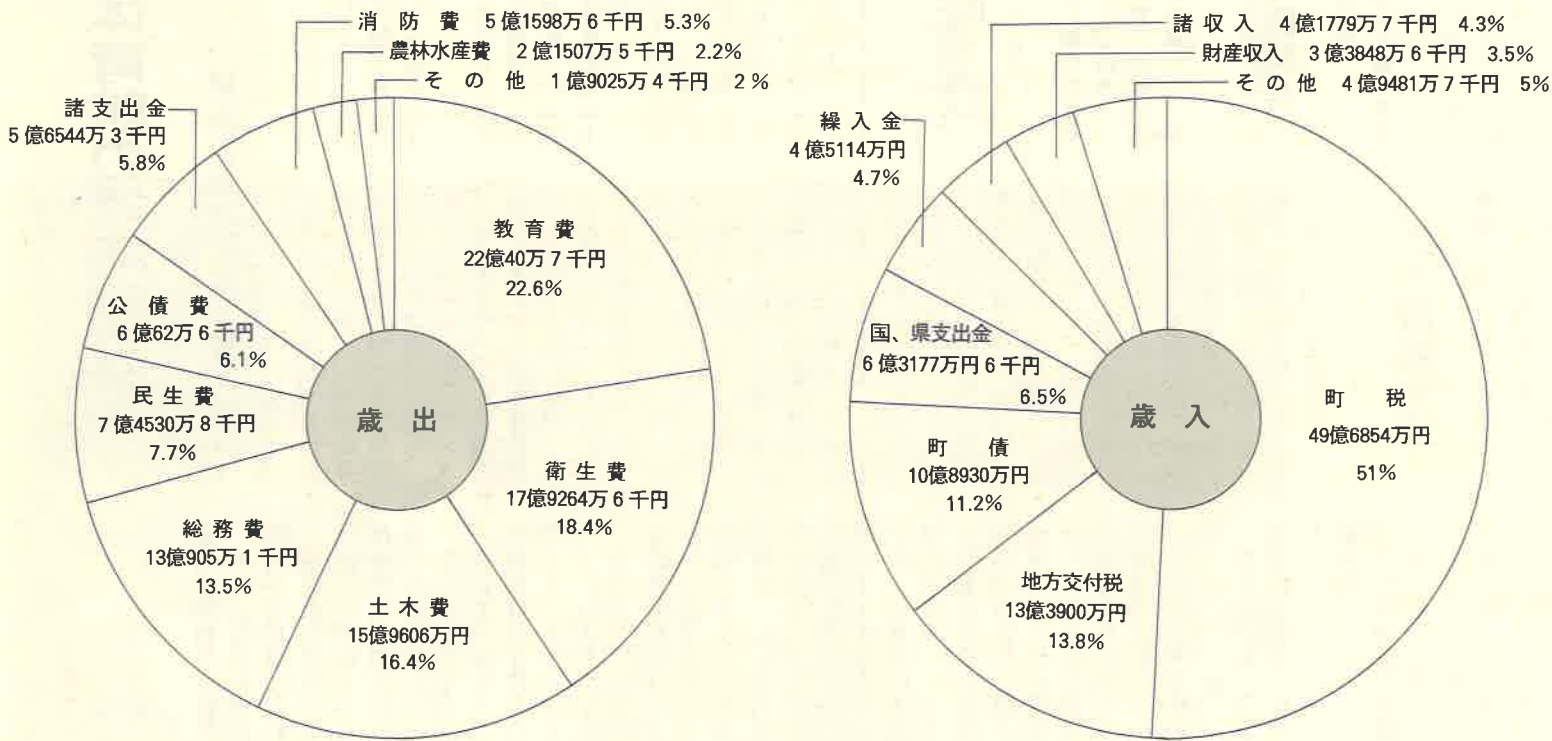
教育課長 まず中学校区ごとに公民館を建てていき、その後に既存の小学校区の公民館を改築していきたい。

土地利用計画 中村議員 これからのまちづくりにあたって有効な土地利用を図っていくため、単に行政側の考えだけでなく、地権者の意思を汲みいった住民参加の土地利用計画を進めていただきたい。町長 土地利用計画については、お互いに勉強し、話し合っていくことも非常に大事であると思う。

福祉行政について 中村議員 現在、中央公民館敷地内にある福祉集会所において、重度心身障害者の機能回復訓練等が週一回行われており、その際、保育所の保育士さんにその手伝いを願っているが、最近の保育所入所者の増加により

手伝いも難しい状況になっているので、是非専任職員を採用していただきたい。町長 早急にとりうけたい。

一 般 会 計 の 内 訳



予 算 総 額		160億2743万9千円
内 訳	一 般 会 計	97億3085万6千円
	下 水 道 会 計	11億3638万5千円
	国 民 健 康 保 険 会 計	13億4637万5千円
	老 人 保 健 会 計	11億910万8千円
	水 道 会 計 (支 出)	11億1660万4千円
	工 業 団 地 事 業 会 計	14億8936万1千円
	工 業 団 地 用 地 会 計 (支 出)	9875万円

平成三年度予算のあらまし

総額一六〇億円にのぼる平成三年度の各会計予算が成立しました。予算の審議は、一般会計を総務、教育厚生、産業経済、建設の各常任委員会に所管別に付託し、国保会計を老人保健会計、水道会計を教育厚生委員会に、下水道会計、工業団地事業会計及び用地会計を建設委員会にそれぞれ付託し、慎重な審議を経て本会議に報告され、各会計とも原案のとおり可決されました。

一般会計

予算額は、九七億三〇八五万六〇〇〇円で、前年度当初と比較して〇・八パーセント伸びています。歳入では、町税が四九億六八五四万八千円、前年度より一四・一パーセント伸びています。これは人口の増加に伴う町民税等の増加によるものです。財産収入は三億三八八万六〇〇〇円で、二〇・八・九パーセント

トと大幅に伸びています。これは、みずき野地内の町有地の売却収入や各種基金利子によるものです。町債は一〇億八九三〇万円で、一六・二パーセント伸びています。これは、健康センター建設事業債、常磐新線対策事業債等の増額によるものです。

歳出では、総務費が六〇・八パーセントの減となっています。これは、庁舎の完成に伴うものです。また衛生費は二六三・七パーセントと大幅に伸びていますが、これは健康センター建設事業によるもので、この事業費は一〇億三二二万五〇〇〇円となっています。土木費は一五億九六〇六万円で、一七・二パーセント伸びています。主なものは、町道整備費四億九八七九万五〇〇〇円、常磐新線対策事業費四億二四九七二〇〇〇円、ふれあいパーク事業四八六七二〇〇〇円などです。教育費は、(仮称)郷州地区公民館建設事業費三億四九八二万四〇〇〇円、給食センター増築工事費二億一六三万九千円などにより三・六パーセント伸びています。

予算額は、一三億四六三七万五〇〇〇円で、前年度当初と比較して九・二パーセント伸びています。歳入は、国民健康保険税が六億九七八八〇〇〇円、国庫支出金が四億四〇一二万円で、歳入総額の七八パーセントを占めています。また保険料の軽減を図るため、繰入金九七九四万円が計上されています。

歳出は、保険給付費が九億一四八〇万円で、歳入総額の六七・九パーセントを占めています。老人保健拠出金は三億四三三七万一〇〇〇円で、前年度当初より二五・七パーセントも伸びています。これは、老人医療費の増加によるものです。また本年度も引き続き人間ドック検診料の一部助成が行われ、六〇〇万円(三〇〇名分)が計上されています。

老人保健会計

下水道会計

予算額は、一億九一〇万八〇〇〇円で、前年度当初と比較して四・五パーセント伸びています。歳入は、支払基金交付金七億五八八七九〇〇〇円で、歳入総額の六八・四パーセントを占め、その他国庫支出金、県支出金、繰入金などです。

歳出は、医療諸費が一〇億八二九二万一〇〇〇円で、歳入総額の九七・六パーセントを占めています。建設事業では、昨年度に引き続き市街化調整区域の整備が促進されます。また、工業団地の稼働等により処理水量の増加が見込まれるため、維持管理の強化を図るとともに、各種機器及び管渠の保守点検が実施されます。

予算額は、一億三三三万八五〇〇〇円で、前年度当初と比較して一・二パーセントの減となっています。これは主に建設事業費の減少によるものです。歳入では、利用人口の増加や工業団地等の大口利用者の増加により、使用料及び手数料が五六・四パーセントと大幅に伸びています。建設事業では、昨年度に引き続き市街化調整区域の整備が促進されます。

水道会計

収入は、収益的収入が一〇億八二九二万一〇〇〇円、資本的収入が七〇四八万八〇〇〇円で、合計一億五

予算額は、一億三三三万八五〇〇〇円で、前年度当初と比較して一・二パーセントの減となっています。これは主に建設事業費の減少によるものです。歳入では、利用人口の増加や工業団地等の大口利用者の増加により、使用料及び手数料が五六・四パーセントと大幅に伸びています。建設事業では、昨年度に引き続き市街化調整区域の整備が促進されます。

収入は、収益的収入が一〇億八二九二万一〇〇〇円、資本的収入が七〇四八万八〇〇〇円で、合計一億五

予算額は、一億三三三万八五〇〇〇円で、前年度当初と比較して一・二パーセントの減となっています。これは主に建設事業費の減少によるものです。歳入では、利用人口の増加や工業団地等の大口利用者の増加により、使用料及び手数料が五六・四パーセントと大幅に伸びています。建設事業では、昨年度に引き続き市街化調整区域の整備が促進されます。

快適な自立都市をめざして

広域体育館の早期建設を

建設促進特別委員会を設置

去る三月二〇日、第一回定例会の最終日に、当町議会に「総合体育館等建設促進特別委員会」を設置しました。

目的は、常総地方広域市町村圏事務組合事業による総合体育館、温水プール等の建設を促進するためのものです。

常総運動公園内への体育館建設は当初から計画されていたのですが、他の広域市町村の同意が得られず、今だに建設されておりません。しかし最近において、

大久保 通
柳生 力
松丸 照雄
豊島 清

第1回特別委員会

第一回目の特別委員会が四月一〇日に行われ、常総広域組合事務所において、同組合事務局長から、総合体育館建設の現況について報告を受けました。

それによると平成三年度において、環境センター関連施設の調査費を予算化してあり、実施設計まで行いたいとのことでした。

特別委員会では、総合体育館の早期建設を要望し、さらに建築規模についても広域の事業としてふさわしい規模（三〇億円以上）を事務局としても提案するよう強く要請しました。

議員視察研修

市民交流の拠点づくり

日立シビックセンター

してきました。いよいよ常磐新線第三セクターも設立され、平成一二年度の開業に向け、本年度から本格的な事業活動に入りま

日立シビックセンターは、日立駅前地区のシンボリック施設であり、市民の生活と文化の拠点として整備が進められ、昨年の十一月に完成しております。



日立新都市広場にて

日立シビックセンターは、日立駅前地区のシンボリック施設であり、市民の生活と文化の拠点として整備が進められ、昨年の十一月に完成しております。

施設の内容は、図書館、文化ホール、市民交流センター等の公共施設が集合しており、さらに科学館も併設されております。全体の大きさは、地下一階、地上一〇階、延べ床面積は二万四〇〇〇平方メートルで、特に一番上に乗っている天球の大きさは、直径約二七メートルで、中は円形劇場になっており、プラネタリウムや大型映像などを見ることが出来ます。シビックセンターの運営には、日立市科学文化情報財団があたりつ

新緑の季節になると『茶摘み』（文部省唱歌）の歌を思い出す人もいます。うたすきがけにすげの笠のいで立ちで茶摘みする光景は、いまでは観光ブスターなどでしか見られなくなってしまうかもしれません。しかし、手摘みされた新茶を口にするとうれしさは、いまも変わりません。

新茶

茶摘みの時期は場所によって違いますが、だいたい八十八夜あたりから最盛期になります。八十八夜というのは、立春から八十八日目のことで、今年は五月二日がその日に当たります。



新茶と呼ばれるのは、いわゆる一番茶のことで、四月の中ごろから六月初めくらいに摘んだ茶のことをいいます。最近では、保存・包装の技術が発達、普及し、新茶の味と香りを一年中楽しめるようになりました。ところで、昭和四十年代の後半から、日本茶は紅茶

やウーロン茶に押されて、消費量が減ってきています。ピークが昭和四十八年度で、一人当たり年間一、〇二五グラムでしたが、平成二年度は一人当たり七四〇グラムになっています。

自治功労表彰



去る二月九日に開かれた全国町村議会議長会定期総会において、本町議会の久保隆司議長と中村力議員が、議会議員として多年にわたり、議会制度の高揚、地域の振興及び住民福祉の向上に尽くされた功績により特別表彰を受けました。

臨時会

二月二〇日に開かれた第二回臨時会、及び四月一二日に開かれた第三回臨時会の議決内容をお知らせします。

第2回臨時会

●二年度補正予算
○一般会計補正予算（第8号）

守谷東特定土地地区画整理組合の平成三年度国庫補助事業を平成二年度に発注するための債務負担行為の補正と、道路改良工事費四〇〇万円を予備費から充当するもの。

●工事請負変更契約
○辰新田地内公共下水道汚水面整備工事において、一部区間に軟弱地盤があるため、山留工法を変更するもの。

第3回臨時会

●専決処分事項の承認
○一般会計補正予算

御所ヶ丘小学校用地及び同校金庫収蔵費と、御所ヶ丘中学校校舎買収費の増額で、歳入は国庫補助金と町債。補正額は四億二五三万一〇〇〇円で、補正後の予算額は一〇二億五五八万九〇〇〇円となった。

報告

●二年度繰越明許費
道路改良工事費、けやき台中学校の外構及び倉庫建設事業費、郷州地区公民館設計委託料を翌年度に繰り越すもの。

個人住民税の所得割の非課税限度額の引き上げ及び均等割の非課税標準の改正

税率適用区分の改正、固定資産税の負担調整率、免税点の引き上げ、退職所得に係る住民税の取り扱い及び税額表の改正など。

都市計画税の負担調整率の改正と条文の整理をするもの

都市計画税の負担調整率の改正と条文の整理をするもの。

造成工事費二二〇万六〇〇〇円を翌年度に繰り越すもの

造成工事費二二〇万六〇〇〇円を翌年度に繰り越すもの。

振興計画

第三次守谷町振興計画
昨今の行政需要の増大、複雑多様化とともに、高齢化社会、高度情報化時代、国際化社会などの新たな問題も提起され、これらの対応が重要視されている。また、常磐新線計画により、東京都心と筑波研究学園都市の中間に位置する本町が、常総地域の中心都市としての役割を担うこととなり、本町をとりまく情勢は大きく変貌することが予想される。このような状況の中、住民意識と今後の内外の動向を的確にとらえ、「真に明るく健康で住みよいまちづくり」の実現をめざし、第三次振興計画が策定された。基本構想は、平成三年度を初年度とし、一〇年後の平成二二年度を目標年次としている。

シビックセン